



## 5.情報発信

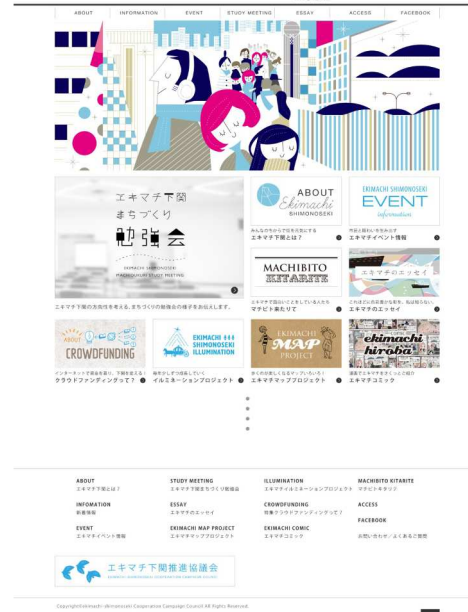
エキマチマガジン (情報誌)

公式ホームページ

SNS用動画CM製作







エキマチ下関推進協議会

ホーム エキマチ下関推進協議会とは にごりへ朝出部会 陽帳デザイン部会 まちづくり推進部会 自主制作事業



エキマチ下関

街を歩くと、今まで気づかなかったモノが見えてくる  
オモシロさに気づく、ステキな人に出会える...  
ワクワクする..ドキドキする。  
人と人が出会うこと、何かが生まれる、  
生まれることが楽しいと感じる  
のために何かをする、それを喜んでくれる人がある  
人と一緒に汗をかく、笑顔が生まれる瞬間  
人が行き交い、挨拶する、新しい出会いと笑顔が生まれる  
それが私たちの魂「まち」の姿  
街が変わる、街が生まれる、私とあなたので...  
新しい街が生まれる、私たちの街が変わる  
「エキマチ」誕生！！  
あなたの参加がなければ、この街は生まれえない、変わらない。

最新のおしらせ

NEWS

市立大学が市民公開イベント「エキマチマラソン」を開催 (2017.12.22) 2017年12月22日  
下関市が大学公民学でネット公開 (2017.12.18) 2017年12月18日

@ekimachi083さんのツイート



公式ホームページ



●エキマチ下関イルミネーション2017点灯式 (2017.11.18)

エキマチ下関イルミネーション2017の点灯式が11月18日(土)17:30からエキマチ広場「市民広場」前で開催されました。当日は約1,000名の方々が参加し、冬のイルミネーションの魅力を堪能しました。また、下関市の歴史や文化の紹介、ワークショップやゲームなどの体験も用意されました。ご参加いただいた皆様、誠にありがとうございました。来年もぜひご参加ください。お問い合わせは、エキマチ下関推進協議会事務局まで。TEL:083-933-1111



サイバーマーケットしものせきさんは、エキマチ広場にいます。  
2017年10月25日

11/23木・祝エキマチ下関で2017オートムフェス開催！！  
お祭りで賑わうエキマチ広場でランチタイムコンサート&エキマチマルシェオープンラッシュで華やかな音と地元作家さん&ショップのオシャレかわいいマルシェが楽しめます！！  
【エキマチ下関2017オートムフェス】  
日時：平成29年11月23日(木)・祝11:00-16:00  
場所：エキマチ広場 (JR下関駅前人工地盤)  
【CM第1弾！エキマチマルシェのご紹介Part 1を公開中！】  
☆CM第1弾！エキマチマルシェのご紹介Part 1 > https://youtu.be/Vfskd1jQ810  
handmade＊theta＊/竹の森アート 栗々ろさぎ  
Handmade taeratte / gocha gocha  
yummy&K's Works  
☆CM第2弾！エキマチマルシェのご紹介Part 2 > https://youtu.be/M9ndzWZxjQ  
K&K coffee /ゆりうち /アトリエワルツ  
hearty mail /ぶりぶりいこ / nagomi+  
☆CM第3弾！エキマチマルシェのご紹介Part 3 > https://youtu.be/ogCWV\_3WvU0  
よもぎあん / NICO CANDLE /パーティーlove dog

ネット動画CM











エキマチ下関  
「まちづくり憲章」  
(学生提案)

### 4."下関"の良さを感じるエキマチ

「海峡と歴史のまち下関」を感じるまちに。  
下関が詰まった、下関が映し出されるようなまちになります。

### 5.みんなの願いを叶えるエキマチ

「やりたい」と思ったことができるまちに。  
「何かやろう」と思った人を支え、一緒にまちを育みます。

### 6.心をひとつに創り出すエキマチ

全ての人手が取り合い、心をひとつに、未来をつくるまちに。  
下関への感謝の心を忘れずに、地元のためのまちであり続けます。



Aグループ、Bグループ、各35名程度、合計70名が参加。6名ずつの班に分かれて、課題、解決策を探り、提案作成。

Bグループ中間発表会 2018.1.26/市立大学にて



梅光学院大学 藤原ゼミによるエキマチプレゼンテーション









61

## 8. 『自分ごと』のまちづくり を目指して

62

### 『自分ごと』のまちづくりを目指して

**「売上アップ」「集客」はイベント。  
まちづくりは主体的な『自分ごと』  
の活動を生み出すこと。**

何らかの目的のために行われる催し（イベント）は、時と場所を一つにして、ある目的を集まった人々に伝えるためのものである。ホスト（主催者）⇒ゲスト（来場者）に何かを伝え動かそうとするものであり、例としては、商店の販売促進や行政の啓蒙イベントなどがある。イベントは受動的、一過性に終わる性質があり、自主的『自分ごと』継続性を信条とするまちづくりとは異なる。

63

### 『自分ごと』のまちづくりを目指して

**ピンチはチャンス！『自分ごと』として  
出来ることを考えよう！**

自分たちのまちに対する不満や困った問題など、公の場でまちの不都合と感ずることを口にすることは容易ではありません。しかし、なかなか言い出せないこと、そこにこそ多くの仲間が「真実」と考える「まちの課題」が潜んでいるものです。その「真実の課題」を探り当てともに改善に取り組むことこそ、多くの賛同を得られ本当に必要なことのはず。小さな声に耳を傾ける。それこそがビジネスチャンスでもあるのです。また「まちづくり」に、これは正しいとか、正しくないと判断することは不可能です。これをやれば「まちが良くなる」「劇的に変化する」などという特効薬はありません。誰が何をやるのか、自分たちに何ができるのか、何から始めるのかをしっかりと話し合い、優先順位を決めて合意し行動を起こすのみです。よその誰かに言われた素晴らしいアイデアよりも、今ここにいる仲間、自分たちで何がやれるのが最も大切なことであり、できるだけ小さな単位から始めることが大切です。

64



## 強いリーダーシップこそ、 まちづくり成功のカギである。

まちづくりの成功例に「まちづくりプランナー〇〇さんのおかげ」などということを目にするが、ほとんどそのウラには、市長や首長のトップ判断がある。だからこそ全庁あげて取り組む体制がベースにあるからこそ、プロジェクトが前に進むのだ。〇〇プランナーに仕事を任せたとトップ判断こそがまちを動かす本丸であり、そのことを忘れては、「木を見て森を見ない」というものである。

「面白いおばちゃんアイデアでまちが活性化」「まちを輝かせるタネが様々なところに眠っている」などなど。しかしそれを具現化するためには、見えないところにプロの仕事力が働いていることを忘れてはならない。面白い、楽しいという活動のウラには、しっかりとした事務局の存在、しっかりとした事務局の計算と配慮があることを覚えておかなければならない。「オモシロイ」だけではまちは動きださないのだ。

## 一緒に学ぶことから始めましょう

まちづくりとは活動をしている人自身が楽しいことが第一で、その活動により仲間が増えていき、それを見ている人までもが楽しくなる活動を誘発するものです。ある時はゲストとして参加した人が次回は逆にホストになっているといったような、そんなコミュニティ、仲間が増えていくきっかけづくりが「まちづくり」には最も必要なことなのです。

まちづくりには正解もゴールもない。仲間と一緒に一つの目標「わたしたちのまちをよりよいまちに、心地よいまちにしたい」との目標に向かって前進するその姿そのものです。そのためには、一人一人の意見の正当性を論ずるのではなく、一緒に一つのことを成し遂げるための活動こそが必要です。同じ視点に立つためには、あまたある視点の中から一つを選択する必要があります。同じことを学びその中から、どう考えるのか、今自分たちには何が出来るのかのヒントをつかんで行く必要があります。同一の視点に立つ必要から「学ぶこと」から始めましょう！

## 「対話」の「場」づくりを大切に、 私たちのサードプレイスを目指して

まちづくりという正解がない議論を進めていくには、平等、対等がベースとなった「対話」が必要となります。上下の隔てなく、意見を言ったり、聞いたり、「対話」の関係性を作ることが必要です。会議などで他人を責めるということは、その議論を他人事として捉えている証拠です。『自分ごと』として捉えていけば、一緒に悩み解決策を考えるものです。それこそが「まちづくり」に必要な「人づくり」につながるのではないのでしょうか。

サードプレイスとは：  
自宅(ファーストプレイス)や職場・学校(セカンドプレイス)ではない、一個人としてくつろぐことができる第三の居場所。米国の社会学者レイ・オルデンバーグが、1989年に自著『The Great Good Place』で提唱した。オルデンバーグはサードプレイスを、都市生活者に出会いや良好な人間関係を提供する重要な場であるとし、その特徴として「無料または安価で利用できる」「飲食が可能」「アクセスがしやすい(徒歩圏内)」「常連が集まる」「快適で居心地がよい」「古い友人と新しい友人の両方に出会える」点を指摘。

出典：知恵蔵mini

## ご清聴ありがとうございました。